urceolatis lanatis, segmentis dentatis differt.

Hab. Nepal: Lamjung Himal., 12,500 ft., on open slopes. Corolla pink (Stainton, Sykes et Williams, July 16, 1954, no. 6364, type in Brit. Mus.).

* * * *

1) *Lindenbergia* はアフリカから東南アジアに分布する15種類ほど知られる小さな属である。花糸の先が上部で2岐して，それぞれの先に一室の花粉袋がつくという特異な形をしている。東南アジアの多くのものは，日当りのよい石垣の間などにはえる雑草的な草である。ブータンのものは照葉樹林の下生えで，高さ1米ほどの低木状で，花は大きく，黄色に赤褐色の斑点があり，美しい植物であり，他の種類とは著しく異っている。

2—5) シオガマギク属 *Pedicularis* は四川，雲南についでヒマラヤ山脈に多くの種類がある。大英博物館では1937年頃から現在まで数多くの調査隊を出し，多数のヒマラヤ植物を収集している。この中に多くのシオガマギク属のものがあるが，1949年までの収集は，中国の鍾礼求氏 (Tsoong Ru-chin) が研究して，多くの新種を報告した。しかしこれは主にチベット，ブータンの採集品である。1950年以後，ネパール植物の収集に力がそそがれている。この採集品の研究を依頼されたので，研究の結果わかった新しい知見を報告する。

アンナプルナから採集された *Pedicularis* は一つは葉が対生し，花筒が長く，くちばしが細長くとがるので，Brevifoliae 群に属すものであり，一つは著しく細長い花筒をもち，くちばしは細長くとがるもので Longiflorae 群に属すものである。ともに新しいものと見られるので前者を *P. annapurnensis*, 後者を *P. armatoides* と名づける。またラムジュンヒマラヤから採集されたものは，ヨツバシオガマ群 (Myriophyllae) に属していて，同じ群でヒマラヤにある *P. tenuicaulis* に近い，別の種類である。

Explanation of Plates VII and VIII.

Pl. VII. 2. *Lindenbergia bhutanica*. 3. *Pedicularis armatoides*.

Pl. VIII. 7. *Pedicularis annapurnensis*. 8. *Pedicularis chamissonoides*.

□伊豆諸島，小笠原島などのフローラ (1)

伊豆諸島植物誌 1. シダ植物 (常谷幸雄・大場秀章) Sci. Rep. Yokosuka City Mus. **14**: 42–61, 1968—日本の文献を主とした多数の論文リストつき。**鳥島の景観と植生** (常谷幸雄)—火山活動による植生の歴史的変遷を主に述べる。(気象庁：南鳥島・鳥島の気象累年報及び調査報告 (1963)。小笠原諸島自然景観調査報告書 188 pp. (東京都)—東京都・厚生省で主催した 1968 年 7–8 月の調査報告。**小笠原島の植物** (津山尚) 81–110, 写真地図つき，他に地形・地質，動物，海中生物などの報告を含む。 (津山 尚)